

発行人：飯山市長 足立正則
編集：飯山市役所 総務部 庶務課秘書 広報係
〒389-2292 長野県飯山市大字飯山1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
ホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>
E-mail
kikaku@city.iiyama.nagano.jp

もくじ

菜の花大橋に続き新町地区高架橋架設工事完了・・・
大震災発生から2ヶ月、私たちにできる事を・・・
春のいよいよやまを満喫・・・
市職員上級(行政・土木)を募集します・・・
飯山市に住もうを応援します・・・
地域資源活用型起業支援事業補助金創設
人権について・・・
考えてみませんか ごみのこと・・・
米持邦雄青少年育成基金助成団体募集・・・

13 12 10 8 6 5 4 3 2

変わる飯山の景色を多くの方が目撃 菜の花大橋に続き新町地区高架橋架設工事完了



4月18日に行われた架設工事には、小雨のなか多くの方が訪れた

4月13日、北陸新幹線第5千曲川橋りょう(愛称「菜の花大橋」)の架設完了を記念したボルト締結式が開催され、橋りょうの位置する飯山市と中野市から、それぞれ関係者が出席しました。

菜の花大橋は、北陸新幹線長野以北では、黒部川橋りょうに次ぐ751mの長さで、6100トもの鋼材を使用して建設されました。

冬期間の渇水期に工事を行わなくてはならないため、工区の中でも難所となっていました。冬期間の渇水期に工事を行わなくてはならないため、工区の中でも難所となっていました。努力により、無事故、無災害で完成を迎えることができました。

式典では、代表者が橋りょう中間のボルトを締めて完成を祝い、式典の最後には、足



市境に位置する菜の花大橋中央部で、中野市小田切市長と握手を交わす足立市長

菜の花大橋ボルト締結式から5日後の4月18日、時折小雨の降る中行われた「飯山地区PCけた架設工事」は、深

立市長と小田切中野市長が固く握手を交わしました。

夜にもかかわらず、歴史的瞬間を見ようとする多くの見物客に見守られ、順調に行われました。

この架設工事は、新町地区内で作成された1本当たり長さ40m、高さ25m、重量120トのコンクリート製の鉄道けたを、650トと400トの油圧式クレーンで架設するもので、合計6本を4月18日、19日の2日間に分けて作業が行われました。

この作業により、4月13日に行われた菜の花大橋ボルト締結式に続き、新町地区中央通り線交差点部の高架橋架設も完了し、飯山市内の北陸新幹線高架橋が全て連結されました。今後高架橋工事は、コンクリートでの仕上げ作業等を行い、秋には完成予定となっています。

大震災発生から2ヶ月

今、私たちにできる事を

東日本大震災・長野県北部地震への支援

飯山市では、3月12日に発生した長野県北部地震による被害を復旧する一方、長野県北部地震発生後すぐに始まった支援活動へ継続的に力を注いでいます。

市民の皆様からの義援金受付をはじめ、市職員の被災地への派遣や避難者受入などを行うほか、市の一般会計からも見舞金として200万円の支出を決め、4月28日には栄村島田村長へお届けしました。(写真)



■義援金の状況(飯山市・社協・観光局関係受付分) (4月30日現在)

支援先	金額	取扱い状況
栄村	6,884,629円	・3月24日 2,900,000円、寄付者が直接栄村長へ届ける ・4月6日 3,025,617円、市長から栄村長へ届ける
野沢温泉村	195,000円	・4月18日 195,000円、市長から野沢温泉村長に届ける
飯山市	825,006円	
東北	3,228,455円	日本赤十字社 長野県支部、中央共同募金会(社協分)へ
合計	11,133,090円	

■義援金の状況(各地区区長会の取組状況) (4月20日現在)

地区名	内容	義援金送付先および内訳
飯山地区	飯山地区区長会より60万円を支援金として支出	・東北 30万円 ・栄村 30万円
秋津地区	秋津地区区長会より20万円を義援金として支出	東北、栄村へ金額は未定
木島地区	全世帯へ1世帯1,000円を目安に義援金を募集	4月19日、100万円を栄村へ届ける。市義援金箱へ15万円
瑞穂地区	全世帯へ1世帯300円を目安に義援金を募集	全額栄村へ
柳原地区	全世帯へ1世帯1,000円を目安に義援金を募集	個人の希望により東北、栄村へ
富倉地区	富倉地区区長会より2万円程度を義援金として支出予定	未定
外様地区	外様地区区長会より10万円を義援金として支出	・東北 5万円 ・栄村 5万円
常盤地区	全世帯へ1世帯300円を目安に義援金を募集	全額栄村へ
太田地区	活性化センター、市役所等の募金箱で対応。大口の義援金は、日本赤十字社を紹介	
岡山地区	被災地であることから、金額を設定せず「栄村を元気に 義援金」袋を全世帯へ配付	全額栄村へ

■栄村への支援(4月15日以降)

- ・【4月4日～18日】被災家屋認定調査のため、職員1名(延べ15名)派遣
- ・【4月4日～24日】ごみ分別、搬入誘導作業のため、職員2名(延べ42名)を派遣
- ・【5月23日～6月8日予定】災害査定作業のため、職員1名を派遣予定
- ・【6月27日～7月1日予定】災害査定作業のため、職員1名を派遣予定

■東北への支援(4月15日以降)

- ・【4月20日～28日】陸上自衛隊即応予備自衛官として市職員1名が被災地へ赴任
- ・【5月8日～13日】被災地へ保健師1名、連絡員1名を派遣

■避難者受入状況

- ・【4月15日現在】世帯数 31世帯(栄村30世帯、仙台市1世帯)人数 91人(栄村87人、仙台市4人)

■福島第1原子力発電所事故への対応

- ・【4月18日】水道水の放射線濃度調査を実施ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 全て不検出